

平成26年度

租税教室実践発表資料



石巻市立広渕小学校

教諭 本宮 千佳

1 はじめに

税金とは、国の財政を賄う収入の最も主要なものであり、私たちが健康で心豊かに生活を送るために大切な役割を果たすお金である。日本国憲法には、「国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負う。」と明記されている。具体的には、教育や社会福祉、道路や公園の整備、警察や消防など、住みよい町をつくる国や地方公共団体の財源となる。しかし、大人でもどれだけの人が税金の種類や役割を認識し、納税しているのかは疑問である。

そこで本題材では、「もし、税金が無くなればどうなるか」ということについて、自分たちの日常生活に置き換えて考えることにより、納税の大切さ、必要性を実感させていく。将来の日本を担っていく子どもたちに、税やその使い道について関心をもたせ、政治や国の将来について考えていけるような基礎を今回の税の学習を通して育んでいきたいと考えた。

2 児童の実態

本学級は、6年生(男子12名、女子13名)25名である。事前に税に関するアンケートを行った。結果は以下のとおりである。

1 「〇〇税」のような税金の種類を、知っているだけ書きましょう。

- ・消費税 25名
- ・印税 2名
- ・納税 3名
- ・脱税 3名
- ・増税 2名
- ・無税 2名

2 税金についてどんなイメージを持っていますか。

- ・国をよくする 1名
- ・国を困らせる 2名
- ・国民から取る 5名
- ・困る 1名
- ・国のお金 6名
- ・お金がかかる 1名
- ・高い 3名
- ・変動する 1名
- ・いらぬ 1名
- ・良いイメージではない 1名
- ・無答 3名

3 消費税は、現在何%か知っていますか。

- ・知っている 24名
- ・知らない 1名
- 8% 23名
- 10% 1名

4 消費税を上げるべきか下げるべきか、それとも今のままでよい。

- ・上げるべき 0名
- ・下げるべき 18名
- 【理由】
- ・払うのが大変 . . . 6名
- ・安いほうが良い . . . 4名
- ・高い . . . 3名
- ・物価が高くなる . . . 2名
- ・計算しづらい . . . 1名
- ・親に買ってもらえなくなった . . . 1名

・今のままでよい 7名 【理由】

- ・国をよくするから・・・1名
- ・将来のためだから・・・1名
- ・高くなると大変・・・2名
- ・上がったたり下がったりは困る・・・2名
- ・国民の不満が増える・・・1名

5 税金はどんなことに使われていると思いますか。

- | | |
|------------------|----------------|
| ・国のため・・・7名 | ・天皇のため・・・3名 |
| ・年金・・・3名 | ・国の建物を建てる・・・3名 |
| ・公務員の給料・・・2名 | ・老人のため・・・2名 |
| ・国の借金返済・・・2名 | ・教科書・・・1名 |
| ・困っている地域の支援・・・1名 | ・復興支援・・・1名 |
| ・輸出，輸入に使う・・・1名 | ・パトカーなど・・・1名 |
| ・貧しい国の支援・・・1名 | ・良いことに使う・・・1名 |

6 税金についてどんなことを知りたいですか。

- | | |
|-------------------------|----------------|
| ・消費税はなぜ上がったか・・・7名 | ・税金はなぜ必要か・・・6名 |
| ・税金の使い道・・・5名 | ・税金の種類・・・5名 |
| ・なぜ税金を払わなくてはいけないのか・・・4名 | |
| ・税金のしくみ・・・2名 | |
| ・本当に国のために使われているのか・・・1名 | |

児童にとって一番身近な税は「消費税」であり、今年の4月から8%に上がったことがニュースなどで取り上げられていることから、消費税については全員が知っている。しかし、その他の税の種類についてはほとんど理解していないようである。また、税金は国のためや良いことに使われているという意識はあるが、税金が増えることについてはよく思っていない。国から取られているという意識が強いため、税金についてあまり良い印象を持っていないようである。具体的にどのようなことに使われているかを理解している児童は少なく、税金についてよく分かっていない子がほとんどであると思われる。

3 指導にあたって

指導にあたっては、次の3点について留意していく。

- ① 社会科の歴史や政治の学習の中で「税金」に関わる単元を意識して取り上げ、税金に触れさせながら学習に取り組ませていく。
- ② 税務署からゲストティーチャーを招いて租税教室を実施することで税に関する専門的な知識を学び、税金についての理解をより深めていく。
- ③ 税金のことを学習することで、今後自分たちはどのようにしていかななくてはならないかを考えさせ、将来、政治や国について考えることの基礎を養っていく。

4 指導計画（2時間扱い）

時間	学習活動	教師の支援
時間外	「税に関するアンケート」 ・アンケートの内容の説明を聞き，記述する。	・業前活動で記述を行う。
1	「租税教室」 ・税金とはなんだろう？ ・もし税金がなかったら？	※石巻税務署に依頼 ・DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を活用する。 ・1億円のレプリカを子どもたちに実際に持たせてみる。
2	「なぜ税金は高くなるのだろうか？」	※国税庁「税の学習コーナー」を活用する。 (http://www.nta.go.jp) ・国の借金について ・少子，高齢化について

5 社会科との関連

（1）『日本の歴史』においておさえさせた語句や内容

○天皇中心の国づくり「大化の改新と天皇の力の広がり」

- ・班田収授の法＝戸籍と計帳を作成し，土地を人民に貸し与え，それをもとに課税した
- ・「租庸調」＝税や労役を課す制度を改革し，人々に「租庸調」の税を納めさせた。
- ・平城京のにぎわいを支えるため，地方の人々が重い税を納めさせられた。

○武士の世の中「人々のくらしと身分」

- ・秀吉の太閤検地＝どの土地をどの農民がたがやし税を納めるかを検地帳に記した。
- ・「年貢を納める」ことに反抗し，百姓一揆が起きた。
- ・百姓は五人組というまとまりをつくり，「収穫の半分にもなる重い年貢」を納めさせられた。
- ・明治政府の諸政策「地租改正」＝土地の価格の3%を現金で納める。

（2）『わたしたちの生活と政治』においておさえさせた語句や内容

○わたしたちの願いを実現する政治

- ・「税金の働きを調べる」
- ・国民の義務「納税の義務」

6 実践内容

【第1次 税とはなんだろう？】7月2日（水）実践

（1）目標

税の種類や意味、使われ方などを知り，税に関する関心を高める。

（2）学習過程

学習活動 ○主な発問 ・児童の反応	主な支援
1 税金の種類について知る。 ○「知っている税の種類を発表しましょう。」 ・「消費税」「増税」「印税」「脱税」 ○税の種類について話を聞く。 ・50種類もあるの。 ・聞いたことがないものばかりだ。 2 納税の義務と税金の使い道について知る。 ○「どうして税金を支払うのでしょうか。」 ○税金はどんなことに使われているのでしょうか。 3 DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を見る。 ○「もし税金がなかったらどうなるでしょうか。」 ・消防車や救急車が来なくなる。 ・道路が作られない。 ・どんなことにも高いお金がかかる。 4 税金についてまとめる。 ○税金が私たちの生活を支えているのですね。 5 1億円のレプリカを持ってみる。 ・重い。 ・こんなに大きいのか？ ・すごい。	○子どもたちから出なかった税金についてもどんな税なのかの説明を加え，紹介する。 ○各税金がどこに納められるか，国税・地方税にわけて説明する。 ○掲示物を活用して，身近なことに税金が使われていることをわかりやすく説明する。  ○DVD「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を再生する。  ○税金の必要性を，理解させる。 

【第2次 なぜ税金は高くなるのだろう？】 7月7日（月）実践

（1）目標

- ・現在の日本の状態を知り、税金が高くなる理由を理解することにより、税金の必要性を意識する。

（2）学習過程

学習活動 ○主な発問 ・児童の反応	主な支援
1 税金の使われ方について振り返る。 ○「税金はどのようなことに使われているか思い出してみましょう。」 ・「消費税」「たばこ税」「酒税」「固定資産税」「自動車税」など 2 なぜ税金が高くなるのか考える。 ○「どうして税金が高くなるのでしょうか。」 ・国でいろいろなものを作っているから。 ・高齢者が多くなったから。 ・国がたくさんお金を使っているから。 3 少子・高齢化問題について知る。 ○「高齢者一人あたりを何人で支えていくかのグラフ」をみましょう。 4 国の借金について考える。 ○国の予算のグラフを見て、気がついたことを話す。 ・日本の収入は借金で予算が立ててある。	○前時の内容を思い出させるようにする。 ○アンケートで、税について一番知りたいことが「なぜ税金が高いのか」だったことを伝え、関心を持たせる。 ○高齢者一人を4人で支えている今よりも、1人で支えることになる40年後のほうが、税金を多く収めることになることに気付かせる。 2000年 (1:3.6) 2050年 (1:1.2) ○国税庁の資料を活用し、公債金について取り上げ、国の収入の半分近くが借金で賄われていることに気付かせる。 総額 95兆8,823億円 税金など 52.1% 公債金 43.0% その他 4.8%

○国の支出のグラフを見て、気がついたことを話す。

- ・教育、道路などわたしたちのために使っている。
- ・借金返済や借金の利子にも使っている。

○国の借金の金額について知る。

- ・そんなにあるの？
- ・そんなに払えないよ。
- ・国が悪い。

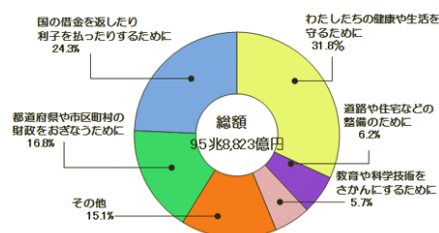
5 これからの日本について考える。

○これからわたしたちはどうしていったらよいのでしょうか。

- ・税金を高くしていくほうが良い。
- ・税金をちゃんと納める。
- ・今のままでは大変なことになる。
- ・無駄遣いをしない。
- ・子どもを増やす。

6 税についての学習を振り返り、感想を書く。

○国税庁の資料を活用し、国の支出の4分の1が借金返済や借金の利子に当てられていることを気付かせる。



○国の借金は1,000兆円を超えた国民一人あたり

約788万7000円（2014年4月1日時点）
全部を税金で返済すると16年かかることを伝える。

○税金の必要性を感じさせる。

○急に税金を増やすことは、私たちの生活を苦しくしていくので、徐々に税金を上げていくことが必要であることを伝える。

7 成果と課題（成果○、課題●）

○税金に対して悪いイメージを持っていた子どもたちが、税金を高くすることは必要だと考えられるようになったことは大きな変化であった。

○「税金は自分たちにはあまり関係ない」と思っていたようだが、身近なことから税について説明していただき、とても分かりやすかったようだ。

●社会科の時数では、なかなか深くまで税について学習することができない状況であるので、年度当初から学習計画をしっかり立てていかななくてはならない。

8 実践を振り返って

今回、租税の学習を行い、あまりにも子どもたちが税に対して無知なことに驚いた。同時に租税教育の必要性を強く感じた。現在、大人でもなかなか税金の仕組みをしっかりと理解していることは少ない。社会科で税については少し触れるが、今回のように詳しく説

明してもらうことはなかなかない。小学校のうちから、少しずつ税金について理解させていくことで、将来大人になった時に納税がなぜ必要なのかを意識して、税金を納めることができると思う。私自身も、大変良い勉強になった。このような学習の機会をいただき、税務署の方々に感謝している。

【児童の感想】

税のことが全然分からなかったのではずかしかったが、授業をして他の人に聞かれても答えられるようになった。たばこ税や酒税は税金が高いので、親はぜい沢しているのだと思った。

Y・M

税の種類が50種類もあると聞いてびっくりした。税が日本になかったら日本はお金がなくなり、大変なことが分かった。

O・T

私は税金はない方がいいと思っていたけれど、授業を聞いて税は必要だと感じた。税務署の竹田さんに税の種類を教えていただいたので、とても勉強になった。

K・N

小学校の6年間で一人83万円もかかると思わなかった。そして、税金がなくなると世界の環境がこわれてしまうことにびっくりした。

N・M

税金なんて負担でしかないと思っていたが、実は世の中を支えていると知ってびっくりした。税金も悪くないと思った。

N・R

国、都道府県、市町村で別々に税を分けているなんて分からなかったので、とても勉強になった。アニメのDVDもとても分かりやすかった。

Y・R

税金は悪いイメージだったけど良いものだとなった。税金を何に使うか、なんで税金が必要なのか等、知りたかったことが分かって良かった。税金の話には興味があったから楽しく話が聞けた。

M・N

今まで税金がつくと高くなるからなければ良いと思っていたが、あってよかったと思った。税は私たちの暮らしに必要なものだと感じた。

O・S

消費税をなんで払わなくてはいけないんだろうと思っていたけれど、とても役立っていることが分かったので、これからは気持ちよく払える気がした。

S・R

税なんていらないと思っていたけれど、いろいろ教えてもらって税は国のためにとっても大切なんだと思った。前よりも税のことをもっと知りたいと感じたので、また教えてほしい。

T・R

今まで、消費税しか知らなかったが、市町村民税や酒税、たばこ税などの種類があると分かって良かった。税金は日本のためになっているのだと聞き、安心した。

S・S

税は大切なんだと思った。種類が50種類あることにもびっくりした。お父さんやおじいちゃんがお酒やタバコをたくさん飲むので、もっと税をアップさせてほしい。

S・S